

アメリカにおける「デュロック種」もと豚の選畜

農業総合試験場 畜産研究部 養豚研究室 ^{やまもと}山本 ^こるみ子

農業総合試験場では、本年度、新しいデュロック種の系統造成を開始するため、原産国であるアメリカからもと豚を導入した。この選畜にあたっては、平成 27 年度職員海外派遣事業における現地調査結果をもとに、当県が求める資質を有する種豚を生産しているアイオワ州の 3 農場を対象とした。そこで、アメリカにおけるデュロック種の現状及びもと豚選畜の概要について報告する。

1. アメリカにおけるデュロック種の現状について

全米種豚登録協会（NSR）の報告によると、2015 年の純粋種の登録母豚頭数は 32,371 頭で、そのうち 10,391 頭がデュロック種である。

デュロック種の登録母豚頭数が 300 頭を超える大規模な育種会社では、「STAGES」※による遺伝的評価の高い種豚が生産され、「コマーシャルピッグ」の生産性向上を牽引している。

一方、アメリカでは品評会やオークションへの出品を目的とした「ショウピッグ」の生産も盛んで、中小規模の農場が体型を中心に改良を行っている。

※ 豚の検定と遺伝評価システムでパデュー大学を中心に開発されたコンピューターソフトウェアプログラム

2. もと豚選畜の概要

- ・ヒンカー農場：母豚 140 頭規模で、そのほとんどがデュロック種である。NSR におけるデュロック種母豚登録数は 9 位。骨量があり、がっしりした体型が特徴である。2501b 到達日齢 139～150 日、背脂肪厚 1.2～1.5cm、ロース断面積 48～58cm² で、雄 1 頭、雌 4 頭を選畜した。
- ・スチュワート農場：母豚 108 頭規模で、そのほとんどがデュロック種である。NSR におけるデュロック種母豚登録数 12 位。アジア諸国に数多く輸出している。バランスのよい体型が特徴である。2501b 到達日齢 133～153 日、背脂肪厚 1.1～1.5cm、ロース断面積 40～46cm² で、雄 1 頭、雌 4 頭を選畜した。
- ・アイオワ州立大学付属農場：デュロック種の母豚は 14 頭。2501b 到達日齢 134～157 日、背脂肪厚 1.9～2.3cm、ロース断面積 53～59cm²。訪問した時期には、対象となる月齢の豚が少なかったため、選畜しなかった。